

奥山県議会ニュース

発行：奥山誠治後援会

事務所：山形市やよい2丁目3-31
TEL 023-646-5128 FAX 023-645-2948

七日町事務所：山形市七日町1丁目1-24-3F
TEL 023-615-7411 FAX 023-615-7410

●ホームページも是非ご覧ください。
<http://www.abc-yamagata.com/seiji/>



県政報告

議席番号 四番・奥山誠治です。
昨年四月の県議選で初当選し、

今日まで支持者の皆様、各会派の先輩議員・同期議員の皆様方からご指導賜り、日々、政治活動させていただけますことに対し、厚く感謝申し上げます。

◆今後の県政展開について

予算編成は、「歳入に見合った収支均衡財政」を目指すことになりました。しかし、実態は税収の低迷と三位一体の改革の影響を受けた地方交付税などの大幅な減額で、超緊縮予算とならざるを得なかったわけです。

平成一六年度の予算編成方針では、「あらゆる分野について、聖域なく見直しを行う必要がある」との基本的な方向を示し、①事務事業の見直し(最少経費で最大の効果)②公社等の見直し(自立的経営を基本とし、県の財政関与を縮減)③職員の適性配置、遊休資産の有効活用(民間活力を活かす)などを柱に行財政

改革を更に推進する。●政策評価等を踏まえた事業の選択と集中を進める。●市町村・民間との役割分担と協働を徹底する。といった柱立てで、それに基づいた予算編成を行ったものと思えます。

◆市町村財政状況の認識と県の対応について

平成一六年度の地方財政計画が発表されました。この地財計画は、地方切り捨てになりかねないかと不安を持つものであります。また、総務省は財政健全化債について充当事業の拡大や、発行可能額を拡大することを決め、急遽二月一八日に各自治体に通知したと報道されました。

総務省は財政難に苦しむ自治体に配慮した措置だと説明しているようですが、県としては、財源不足を補う有効策として県内の市町村に対して活用を促進する方針なんでしょうか。平成一六年度予算に見る本県市町村の財政状況の認識と財政健全化債の発行等を含めた今後の県の対応について総務部長はどの様にお考えか。



(総務部長の回答) 厳しい財政状況を踏まえ、地方公共団体が地域発展等のための施策を計画的かつ円滑に推進できるように、地域再生事業債の創設や財政健全化債の要件拡大など追加的な財源対策措置が講じられ、市町村に対しましては、三位一体の改革の動向を踏まえつつ、財政の健全性の確保に向けた事業の厳選や計画的な実施、行財政改革への一層の取組みによる経費の節減・合理化を図り、持続可能な財政運営に努めるよう助言してまいりたいと考えています。

◆中心商店街の再生について

土地利用に関する初の県民意識調査によると、「今後優先して進めるべき施策として望むもの」という質問に対し、『にぎわいのある商店街の活性化』を望む人が三九%で最も多く、『郊外型の大型商業施設整備』を希望する人は五%前後と低いものでした。これまで進められてきた大型商業施設の整備に満足し、逆に、反対の方向に流れが変わってきたのかもしれない。

一方で、中心商店街の活性化に向けて、インフラの整備が顕著となってきたしており、少しずつではありませんが、人が中心商店街に戻ってきたような感じが見受けられます。

県内中心商店街の現在の状況などのように認識され、その活性化策として平成一六年度予算にどのような取組みを盛り込んでいるのか、商工労働観光部長にお伺いいたします。

(商工労働観光部長の回答) 奥山県議のご指摘の通り、最近、高齢層を中心として街中回帰の動きも見え始めており、中心部に人が戻りつつあります。こうした機を捉え

まして、県といたしましては、街中居住者の増加や買い物、観光などで街に来る方々の増加による賑わいの創出に重点を置いて、関係部局と連携して、中心市街地の活性化への支援を行っており、今年度は、山形市七日町と酒田市中町をモデルに、中心市街地活性化アクショングループを組織し、実現可能なものから一つ一つ実行していこうという取組みを始めており、平成一六年度は、その具体的な事業化について重点的支援を実施して参ります。

◆仙台圏との連携について

山形市と仙台市を中心とする仙台圏は、交通網の整備・社会基盤の整備によって、密接に連携しております。また、山形大学・東北大学を中心に産・学・官による共同研究が盛んであり、住居を移さずに宮城県から山形県へ通勤・通学する人もここ一〇年で二倍近くに増加している状況であります。

両市は従来の行政によって線引きされた二つのエリアから、一つのエリアとして見ることににより、新しい地域として機能するのは

ないかと思われず。

村山総合支庁が具体的な連携の取組みを進めています。が、そろそろ山形県としても具体的対応を行う時期が来たのではないかと考えます。

(総務部長の回答) 本県、特に村山地域が更に発展するためには、隣接する仙台圏に集積している諸機能を有効に活用することや仙台圏に住む人々のニーズを強く意識すること等、両地域を一つのエリアと捉えた広域的な施策展開が、一層重要になってくるものと考えられます。

今後とも、お互いの地域特性を相互補完し、相乗効果が発揮されるような形で、更なる連携促進を強化して参りたいと考えています。



◆山形県農林水産業振興計画の推進について

私は、山形県が全国・世界へ農業県山形という情報発信していくべきであり、本県農林水産業振興計画のねらいである、「安全で安心して心豊かに暮らせる社会づくり」に向け、施策を推進してほしいものであると思います。

農林水産業振興計画の進捗状況はどうなっているのか。また、計画の実現に向け、平成一六年度予算では、どのような取り組みが盛り込まれているのか。

（農林水産部長の回答）平成一六年度予算では、まず、安全・安心について、出荷前残留農薬分析の対象品目を平成一五年度の九品目から一九品目に拡大し、また、園芸作物については、全体で一〇〇〇億円を超える産地づくりに取り組むこととしております。さらに、担い手を育成するため、新規就農者への実践研修や認定農業者の農産加工など新たなビジネスへの参入を支援するなど、鋭意取り組んでまいります。

◆スポーツを通じた人間教育について

私は、教育において、スポーツを通じた人間教育が最も大事な事であると考えます。中学・高校・大学での部活動で、レギュラーにもなれず、ベンチに入れなくとも、練習での苦しみ、試合後の勝利の喜びなどを部員同志ともに経験することは、机上で学べないことを経験できることになるのです。

スポーツを通じた人間教育についての考え方と、今後の取組みについて、どのような基本方針をお持ちか。

（教育長の回答）スポーツの振興に関しては、奥山県議の方が、現場を私どもより把握されておるものと存じますが、基本的な考えとして述べさせていただきます。運動部活動やスポーツ少年団などでも、人間教育の一貫として位置付け、体を鍛えることは勿論のこと、ルールを守る規範意識、忍耐力や団結力など、いわば「人間力」を高める場として考えられています。一方、近年注目の生涯スポーツは、

健康・体力づくりとともに、自らの生活を豊かにするものと思います。「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」、「交流するスポーツ」が一体となった豊かなスポーツ文化の創造を目指し、振興を推進してまいります。



県議会

6常任委

県議会四日、総務、文教公安、厚生文化、農林水産、商工労働観光、建設の六常任委員会を開いた。県側は、県屋外広告物条例の是正猶予期間が切れた去年一二月以降も違反状態が続いている屋外広告物への対応について、度重なる行政指導でも改善されない場合は、適正化に向けて行政代執行による撤去も視野に入れた強い態度で望む方針を示した。

条例違反の屋外広告物

行政代執行で撤去も

可能性がほとんどない場合については、行政代執行も視野に入れ、強い態度で臨みたい」と述べた。また、倒産などで広告主が不明の広告物に対しては「略式代執行を行うことも考えている」と答弁した。

（平成一六年三月五日
山形新聞より抜粋）

建設 奥山誠治委
員は、県屋外
広告物条例の是正猶予期間
（経過措置）が去年一二月
に切れたことに関し、違反
広告物に対する県の対応を
尋ねた。阿部伸陽都市計画
課長は「去年末まで是正が
行われなかった広告物につ
いて、四月以降に文書で通
知し、早急に是正を促す。
再三にわたる行政指導を受
けたにもかかわらず、違反
者が自らは是正措置を講じる

新人議員としては初めて 行財政改革・危機管理対策特別委員長に就任！

奥山県議の現在の役職

- 行財政改革・危機管理対策特別委員会委員長 ●
- 文教公安常任委員会委員 ●
- 山形県開発推進協議会理事 ●
- 首都機能移転北東地域県議会連絡協議会副会長 ●
- 東北中央自動車道建設促進三県議会協議会理事 ●

後援会だより

県議会見学

3月1日後援会の皆様、奥山県議の勇姿を一目見ようと、県議会の傍聴席を占領しました。奥山県議の一般質問を傍聴のほか、議会の様子などを見学し、県政の役割を改めて認識して参りました。議会事務局の皆様ありがとうございました。



春の女性の集い

後援会女性幹部による研修会を兼ねた「春の女性の集い」が4月山形市内のホテルにおいて開催されました。

高橋会長の挨拶に始まり、県議の友人でフルート奏者でもあるアンサンブル・フォーレスト主宰者の阿部太彦氏をゲストに迎え、独奏と講演会が行われました。生で聴くフルートの音色には参加者一同が心を癒され、聞き覚えのある旋律にハミングの場面も。

その後の奥山県議による県政報告にも熱心に耳を傾けました。1年前の県議選の思い出を振り返りながら、多くの参加者の方より奥山県議には「せいちゃん、頑張れ！」と心強い言葉を頂き、懇親会は終始和やかに、あっという間の時間が過ぎました。

